

2 結果の概要

<ペーパーテスト>

- ・全体として、基礎的・基本的な内容は十分身に付いている。
- ・課題となっていた「文章、資料、図表等を深く読み取る力」や「学んだことを活用しつつ、論理的に考察し、自分の考えを適切に表現する力」等は、各教科とも改善の成果がみられるが、今後とも、一層充実させていく必要がある。

【教科別具体事例】（○：十分身に付いている力 △：一層高めていく必要がある力）

- ・国語……○話されている内容や話し手の意図を考えて聞く力、漢字を正しく読む力など
△考えたことなどを根拠を明らかにして書く力、漢字を正しく書く力など
- ・社会……○基本的な事項、用語等の理解、基本的な資料を読み取る力など
△読図技能、略地図を描く力、年表を活用する力、資料から読み取った内容を基に課題を追究する力、自分の考えをまとめ適切に表現する力など
- ・算数、数学○簡単な計算の技能、簡単な方程式の立式、図形の性質の理解など
△数量の関係をとらえ、式に表現する力や複数の根拠を用いて考察する力など
- ・理科……○自然事象についての基本的な知識・理解や観察、実験の基本的な技能、観察、実験の結果を関係付けて考える力など
△観察、実験を目的に応じて計画的に行い、自分の考えを的確に表現する力など
- ・英語……○短い英文から具体的な内容を聞き取ったり、読み取ったりする力など
△状況に応じて適切な表現を選ぶ力、読み手を想定して伝わるように書く力など

【教科別改善の方向】

- ・国語……◇文章の構成や展開に気を付けて読む機会、根拠を明らかにして自分の考えを書いたり交流したりする機会の充実
- ・社会……◇様々な資料を活用し、多面的に考えたり、自らの考えを適切に表現する機会の充実、地図その他の資料、学習したことを活用し社会科の有用性を実感する機会の充実
- ・算数、数学◇数学的に表現したり、よりよい考えを目指して交流したりする機会や算数、数学の有用性を実感する機会の充実
- ・理科……◇一人一人が「観察・実験の目的」と「その観察・実験でどのような結果が予想されるのかという考え」をもって取り組み、自分の考えの変容を表現する機会の充実
- ・英語……◇具体的な活動場面を設定した上で、コミュニケーションを図る目的を明確にし、相手の意向等を理解したり、自分の考え等を表現したりする機会の充実

<質問紙調査>

- ・「勉強が好き」「勉強する意欲」「授業が分かる」については、いずれについても昨年と比べて向上している。
- ・9割の児童生徒が「勉強は大切だ」という意識をもち、8割の児童生徒が「努力して勉強しなければいけない」という勉強に対する前向きな受け止め方をしている。
- ・学習することの意義や目的は、「将来の夢をかなえるため」「新しい知識や考え方などを学ぶため」「世の中の役に立つため」を第一に挙げている児童生徒が多い。中学生（1・2年）では、「受験に合格するため」を挙げる生徒が増加している。
- ・今後も学習することの意義や目的の理解を深め、計画を立てて主体的に学習する習慣をさらに身に付けていく必要がある。